

響きあうアフリカの島人と日本人漁師
～海を越えた出逢いとつながりによって生まれた島唄～

日時 2022年6月24日(金) 13:00～14:30

場所 千里山キャンパス 尚文館 1階 マルチメディアAV大教室

講師 青木 敬 (研究員、文学部准教授)

西アフリカ沖に浮かぶ15の群島、カーボヴェルデ共和国。さまざまな島の魅力を「再発見」することを目的としたヨーロッパ人観光客がここ20年間で急激に増加した。だが、ヨーロッパ人による観光ブーム以前、日本人と現地の島人はすでに出逢っていた。

カーボヴェルデの島人と日本人による接触は、1960年代、日本人漁師がカーボヴェルデを拠点にマグロ漁に従事していたことから始まる。現地の島人は、日本の漁師たちと交流をもったことで、日本人についての島唄をつくり、現在、島の伝統的な文化として継承されている。しかし、これらの島唄の創造過程には島人と漁師の「複雑な関係」があったため、その「出逢い」を単純に礼賛することはできない。異文化接触によって生まれたこのような文化をどのように評価すべきだろうか。そこにはいかなる社会文化的価値があるのだろうか。

本講座では、日本人とのかかわりによって生成したこれらの島唄をとおして、異文化接触の意味について、分断・創造・共鳴の観点から考えたい。さらに、このような事例から、「いま・ここ」に生きる私たちがなにを学ぶことができるのかについて考えを巡らせることで、「われわれ」にとっての共生の風景を描いてみたい。

* * *

●聴講無料
(定員80名/先着順)
＜事前申込制＞

人権問題研究室ホームページ トップページ (<https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>) にある「新着情報」内の本講座案内ページの申込フォームから事前に受講申込をしてください。定員になり次第、受付を終了します。

※受講申込にあたっては、以下の〔新型コロナウイルス感染予防対策〕にご留意のうえ、ご理解とご協力をお願いいたします。

〔新型コロナウイルス感染予防対策〕

- 受講者はマスクを必ず着用してください(マスク着用でない場合、受講はご遠慮ください)。
- 受講者は受付で手指消毒用のアルコールにて消毒してください(会場内は事前に消毒を行っています)。
- 座席は間隔を空けて設定いたします。また演台に近い座席は使用しません。
- 換気のため、会場の出入口のドアは講演中も開放いたします。
- 三密対策として、会場内やロビーでの談笑はご遠慮ください。
- 当日、体調不良の方、特に喉の痛み、咳、および熱のある方(体温が37.5℃以上の方)の受講はご遠慮ください。当日は入場時に検温を行います。
- 参加者に感染者が発生した場合は必要に応じて、保健所など公的機関へ氏名および連絡先の情報が提供されることがあります。
- 接触確認アプリCOCOAのインストールを推奨します。
- 感染拡大の際は、講座の開催を中止する場合があります(その場合、受講申込者に連絡いたします)。

手話通訳が必要な場合は、6月2日(木)までに人権問題研究室へご連絡ください。

第109回 10月28日(金) 13:00 「子ども虐待のいまー日本の現状と課題ー」(仮題)

第110回 11月25日(金) 13:00 「ジェンダーの視点から見る男性の働き方、暮らし方」(仮題)

会場は、尚文館 1階 マルチメディアAV大教室(予定)



主催 関西大学人権問題研究室

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 阪急千里線「関大前」駅下車

Tel 06-6368-1182 Fax 06-6368-0081

ホームページ <https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>